

水産業強化支援事業事後評価報告書

		鳥羽磯部漁業協同組合		
政策目的	鳥羽市における黒海苔養殖漁業は、昭和40年代に本格的に始まり、その後の種苗生産技術の向上、養殖技術の開発や漁業関係者の努力により、県内有数の黒海苔産地となっている。しかし、黒海苔価格の低迷、加工経費や設備投資の増大等による厳しい漁家経営に加え、長時間労働を敬遠した後継者不足により、加工機器の更新を機に廃業する漁家が増加している。このような厳しい環境を打破するためには、生産コストの削減や労働負担の軽減等を図り、黒海苔養殖業が持続的な漁業構造に革新することが不可欠である。			
政策目標	ノリ競争力強化	27-1 整理番号		
事業実施主体	鳥羽磯部漁業協同組合			
実施地区名	菅島地区			
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度		
	平成29年度～令和元年度	令和元年度		
交付金額	276,418,000円			
事業計画の内容	大型ノリ自動乾燥機 大型ノリ自動乾燥機の設置に必要な上屋			
評価	成果目標			
	現状値	147,199千円 (令和元年度末時点)		
	目標値	140,521千円 (令和元年度末)		
	(1) 現状値の説明		黒海苔養殖業者の生産コスト削減や労働時間の短縮を個人加工で行った場合と委託加工で行った場合を比較するため、販売実績等を参考にし、成果目標における取組実績現状値の数値とした。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）		目標値140,521千円に対し、現状値147,199千円となっており、漁業者の労働環境改善や所得向上に寄与しているところである。また、地域の特産品としての認知度も向上してきており、島内経済の醸成にもつながっている。	
	(3) 所見		施設整備により、効率的で収益性の高い生産体制が構築され、島の主要産業である漁業の振興にもつながっている他、事業者の労働環境改善にも繋がっている。海洋環境により単価が左右することはあるが、品質の維持向上を図りながら、今後も安定した経営等につなげていくことが期待できる。	
(4) 評価機関の意見等		(評価機関等の評価を受けた場合に記入)		
今後の改善方向等に関する分析		稼働後5年が経過し、黒海苔自体の品質や価格が安定して提供できるようになっている他、事業者の余暇創出にもつながっており、現状維持を最低ラインとして捉え、今後も鳥羽産黒ノリをPRし、知名度向上及び新規需要の開拓を目指す。		